

個性を生かしたきものを楽しむ

豊中・織元の建屋は昭和3年に建てられたという日本家屋。数回改築して、今も清々しい日本間を持つ店です。

店では、テーマを決めた大きな展示会を年に4回ほど開催。店主・西宗さんは「お客さまが輝くきものを探して、全国の産地や作り手を訪ねて品揃えをしています」と言います。そんな店主とのきもの談議が楽しくて、「ここでしか手に入らないものがある」とお客さまが立ち寄ります。

豊中・織元本店近くには茶室無端庵があり、西宗さんが亭主をつとめる気の張らないお茶席にお客さまをお招きして、茶会での装いや空気感を体感できる機会を設けています。今日のお客さまは、澤田和子さんと井神有希さん母娘。きもの取り合わせや、出かける場面について思いを巡らせることのできる空間として、お客さまに好評を得ています。



織元の店主、西宗恒治さんと、母娘の井神有希さん。無端庵は本店からも徒歩5分。毎月開催の茶会が開かれることも。



井神さんと井神さんのお点前でお茶をいただきました。新しく選んだものが、茶席ではどこにも見えないかを確認になりました。右◇織元のオリジナル袱紗。左◇豊中・織元で選んだときから和の空気に馴染んでほしいお子さま用のきものです。小学生のお客さまとお母さまを招き入れることもあり、好評です。



豊中・織元は豊中駅に程近い住宅街にお店を構える、おとな可愛いきものを揃える呉服店です。店主・西宗恒治さんの目で選んだ、個性的なきものや、染織作家に特注したお洒落なきものが見られます。

着いた華やぎと
しさを備えた紬の訪問着
間、養分を溜めた桜の枝を染
、紅色に染めた糸で訪問着を
上げました。文様はたくさん
物で染めた色糸を用い、「め
織り」という緯糸の密度の変
表情を表す織り技で、シック
のきものに仕上げています。
の／本郷孝文(本郷織物研究
帯／豊中・織元 帯揚げ／和
さくら 帯締め／道明 髪飾
かづら清老舗 リング265万
円 帯留めにしたブローチ
7600円／ともにヴァン ク
フ&アーペル(ヴァン クリー
アーペル ル デスク) バッグ
5000円／サルヴァトーレ フ
ガモ(フェラガモ・ジャパン)



「春色の紬はお出かけ気分が高まり、
優しい気持ちになりますね」
—— 鈴木京香さん